

発行・編集 ミニコミ編集委員会
責任者 古我照彦
事務局 船橋まちづくりセンター
電話 3482-0341
2017. 3 No.107号



まちの目が
安全・安心を守っています
船橋地区町会・自治会連合会
船橋地区身近なまちづくり協議会
青少年船橋地区委員会/成城警察署/成城防犯協会



ちとせ

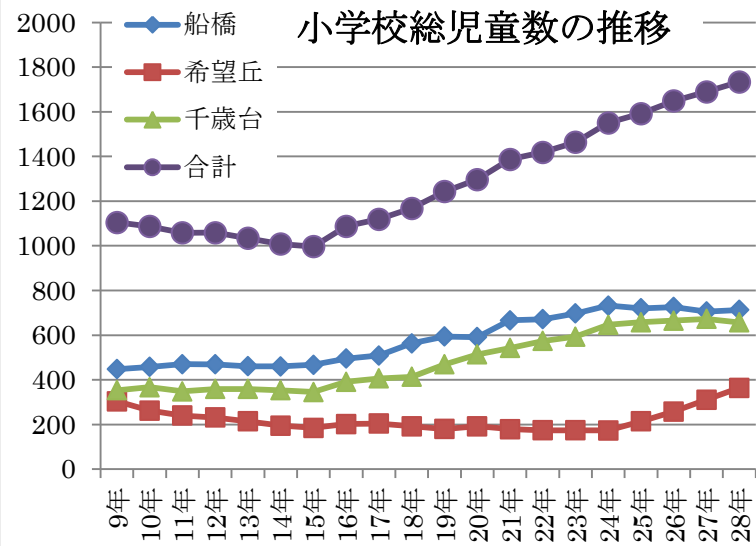


「多世代が交流する
笑顔あふれるまちへ」



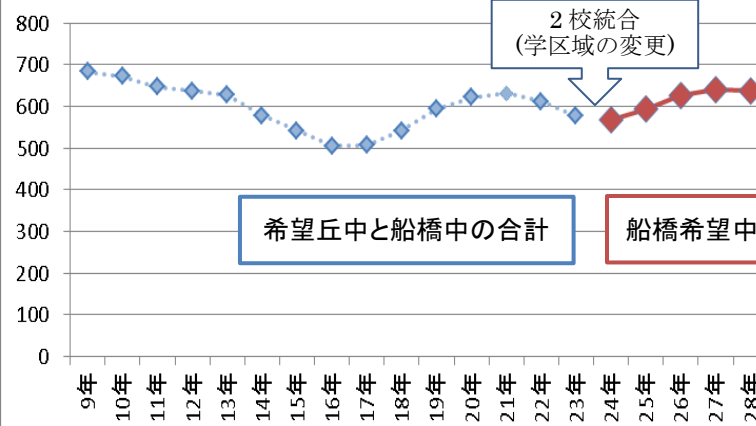
バス停は今も「廻沢」。

船橋地区における公立小中学校の児童・生徒数 20年間の推移 児童数は10年以上増加し続けています！



小学校の総児童数に関しては、20年前には緩やかな減少傾向にありましたが、平成15年を境に増加に転じ、その後一貫して増加を続けています。15年と昨年28年とでは、8割近く児童数が増えています。

中学校総生徒数の推移



中学校の総生徒数は、平成24年度の船橋中学校と希望丘中学校の統合後の5年間を見ると僅かながら増加しています。統合時に通学区の変更があり、50人程度が他校の学区に変更となったため、船橋希望中学校が統合前の2校の合計人数より少なくなっています。

船橋希望中学校の生徒数(639人)は、世田谷区立中学校で一、二を争う規模となっています。

島田製粉所で楽しむ千歳台の味

大根屋の屋号で親しまれている島田製粉所(島田農園)は、千歳台2丁目にあります。麦やコメがつかれ製粉業が盛んだったころの廻沢の姿が目に浮かびます。創業は大正10年頃で、当時の建物や道具が今も残されています。

小売では、小麦粉、きな粉、麦茶、麦こがしなど、千歳台の味覚が満喫できます。3月は清見オレンジ、4月からはタケノコ、夏は梅干しも。



かつて活躍したオート三輪を展示「大根屋島田製粉所」の屋号入り。入り口前に展示されています。



24時間営業の販売機 麦茶やマーメレードも。おつりが出ないので100円玉のご用意を。

助け合ってきた千歳台の人々

吉田仁さん
千歳台廻沢町会会長
船橋地区町会・自治会連合会会長



40数年前、廻沢稲荷神社の秋の大祭は人出が少なうさみしかったんですよ。でも、今は1800人くらいのお客さんが来ているのではないのでしょうか。狭い境内には子どもや若い人がいっぱいいます。

町会会長を8年やらせていただいて、私が願うことは「みんな仲よく」、これに尽きます。人間が集まれば賛成反対、意見の違いは必ずあります。10人いて全員が同じ意見だったら、これはかえっておかしい。10人のうち3人位は違う意見であっても、それを含んでみんなで進んでいくのが健全な姿だと思います。

千歳台では「自分が、自分が」と前に出る人は少ないのですが、「ひとつ頼むよ」といえば必ず助け合い、協力してくれる。農家の気風の名残かな。これからも、古くからの住民と新しい住民、老いと若き、みんな仲よくしていきましょう。

千歳台さんぽへGO!

今、マンションが次々と建っている千歳台。

かつては廻沢とよばれ品川用水(今の千歳通り)がゆったりと流れる田園風景が広がっていたそうです。

街区ができた土地区画整理とは? 名産品は? 千歳台の気風って? 希望丘記念館、島田製粉所、千歳台廻沢町会会長をお訪ねしました。



土地区画整理事業完成記念碑
希望丘記念公園にある大きな記念碑には、町づくりの苦勞が刻まれています。



希望丘記念館
希望丘土地区画整理事業の資料を保存。今は東京土地区画整理推進協会の事務所。

希望丘記念館で聞く町の歴史 農地に道・学校・公園ができた頃

廻沢スイカやタケノコが名産品

昭和40年代半ばまで千歳台は廻沢とよばれ、今も「廻沢」のバス停に名残があります。大きな建物はガスタンクだけ、あとは屋敷林と、陸稲(おかぼ)、小麦、キャベツなどの畑がずっと続いていました。名産の廻沢スイカやタケノコは、新宿などの都会でよく売れたそうです。

廻沢47軒、冠婚葬祭組合があって、なんでも協力しあってきました。干ばつの時などは大山雨降神社に詣でたりもしました。

家にはそれぞれ屋号があります。燃料屋さん「炭屋」、島田製粉所さんは「大根屋」、今でも屋号で呼び合うことがあります。

希望丘土地区画整理事業完成記念碑って?

廻沢は一割地区といって、敷地面積に対して一割の建物しか建てられませんでした。規制が緩和され、昭和40年に希望丘土地区画整理組合ができ補助金を受けて、学校、公園、公共施設、環八、補助54号線(パワーパークス前の道)が作られました。

希望丘土地区画整理組合は85万平米という広さに地権者が350人くらいで比較的人数が少なかったのですが、意見をまとめるのは大変だったそうです。組合の皆さんの25年にわたる努力で事業が完成。希望丘記念公園に記念碑があります。

公園にしだれ桜が多いわけ

環八にあるバッファゾーン(歩道の広い緑地帯)もこの時にできました。6つの公園を作り、それぞれの公園に京都から持ってきたしだれ桜を植えました。

世田谷七沢といって区内には沢が付く地名が7箇所あったのですが、唯一地図から消えたのが廻沢。新しい地名は旧千歳村の「千歳」から千歳台としました。

(希望丘記念館において。一般財団法人 東京土地区画整理推進協会の野島浩一さん・真鍋欣之さんにご協力いただきました。)

～地区の行事予定～

- 3/17 (金) 中学校卒業式 船橋希望中学校
- 3/18 (土) 第7回砧地域ご近所フォーラム2017 成城ホール
- 3/24 (金) 小学校卒業式 各小学校
- 3/26 (日) 子どもぶんか村発表会 希望丘小学校
- 3/28 (火) 健康体操 千歳温水プール
- 4/ 1 (土) 船橋葎根会桜まつり 葎根公園
- 4/ 1 (土) 千歳台廻澤花まつり 希望丘記念公園
- 4/ 6 (木) 小学校入学式 各小学校
- 4/ 7 (金) 中学校入学式 船橋希望中学校
- 4/29 (土) 駅前フリーマーケット(北沢法人会主催) 千歳船橋駅前広場
- 5/21 (日) 古着古布回収・ふなばしノミの市 管内6か所・千歳船橋駅前広場
- 6/ 4 (日) あおばまつり 池田児童遊園, 船橋地区会館, 能勢公園
- 6/10 (土) 子ども用品交換会持込 船橋まちづくりセンター
- 6/11 (日) エコフェスタとふな/子ども用品交換会 船橋小学校体育館ほか

5回目の「3.11を忘れない！」千歳船橋駅前広場にて

今年は11日(土)に演奏や合唱や朗読等の追悼イベント、12日(日)の両日には募金と黙祷が行われました。掲示板には『大漁旗』が。これは新船のために作られたものですが、日の目を見る前に主を失ったもの。被災地に桜を植える等の活動を行っているNPO法人さくら並木ネットワーク(船橋6-9-11)が寄贈を受けたものです。

当日朝、全校集会をもったという千歳台小学校の小宮校長は、1年生はじめ直接震災を知らない子どもたちにどう伝えるか考えさせられたとのこと。「助かるところ寸前まで辿り着いていたのに、子どもを抱いているため手放せず、津波の犠牲になってしまわれたようなのです。」という話を紹介して、その尊い命をどう受止めるか、みんなで考えたそうです。



確かに、当時まだ生まれていなかった子どもたちに、今後どう伝えていくか、悩ましいことです。募金の届け先は、石巻市で子どもたちの居場所づくり等の活動をしている「NPO法人にじいろクレヨン」です。

船橋児童館で思いっきり遊んだよ！「ミニ子どもバザール」開催

電気系統、自動ドア、トイレ、空調などが改修工事で整備された船橋児童館。2月5日(日)に、ミニ子どもバザールを開催。児童館の職員・美崎麻衣さんにインタビューしました。

- Q. 大盛況でしたね。
 A. 改修工事のために実施できなかった昨年の子どものバザールの代わりに2月にミニ版を…との企画でしたが、「どこがミニなんだ!?!」という賑わいでした(笑)。寒い季節なので子どものお店は建物内にしての開催でしたが、ゲーム屋さんもステージプログラムも大人気でした。
 Q. フィナーレでは、竜が屋上から出てきたとか?
 A. 子どもバザールには欠かせない竜、今年は見送る予定でしたが「やっぱりやりたい!」と(笑)。屋上から竜が登場すると、子どもも大人も大喜びでした。(写真)
 Q. 船橋児童館ならではのですね。
 A. 世田谷区立児童館25館のうち、土の庭がある単独館で、緑道や公園が隣接しているという環境はここだけ。今回の改修工事によりあと20年近くは活用できる施設になりました。児童館の行事の告知や報告はホームページにも掲載しています。ぜひチェックしてくださいね!



<手づくりの竜を触ろうとする子どもたち>

第7回砧地域ご近所フォーラム2017(告知)

日時 3月18日(土) 12:30~16:30
 会場 成城ホール

テーマは「わたしからひろげよう地域のわ」。砧地域に暮らす一人ひとりの高齢者・障害者・子ども・若者誰もが互いのつながりを強め地域の力を高めていく。そんなフォーラムをめざし開催されます。

船橋地区からは青少年船橋地区委員会「子どもぶんか村」の発表、有隣病院、劇団「丸福ボンバーズ」の展示発表があります。参加希望者は直接会場へ。

第12回子どもぶんか村発表会(告知)

「子どもぶんか村」発表会実行委員会

日時 3月26日(日) 9:20~12:30 (9:00開場)
 会場 希望丘小学校

*うわばきと靴入れをお持ちください。
 *自転車でのご来場はできるかぎりご遠慮ください。
 子どもたちが話し合い、今年始めて発表会のスローガンをつくりました。「気持ちを込めて 心をひとつに」です。1年間の自分の取り組みやくらすの活動の成果に一生懸命「気持ちを込めて」。応援してくださっている地域の皆様へ感謝の「気持ちを込めて」。9つあるくらすが集まり「心をひとつに」してがんばります。ぜひお越しください。子どもたちと会場の皆さまとの「心がひとつに」なる会をつくって行きたいと思えます。

日本赤十字の「社資」とは? 日赤船橋分団

日ごろ、日赤の活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。皆さまのお力添えにより今年度この地区では、社資合計が1,416,906円となりました。心より感謝いたします。さて日赤では、毎年5月の「社資募集」とは別に、災害時に、テレビ・ラジオなどからもご寄付を呼びかける「義援金」があります。このふたつの違いが分かりにくい、とのご意見をよくいただきます。

「義援金」は被災した県に全額渡されるのに対し、「社資」は災害が起きた場所への救護・救援活動に関わる人材確保・資材調達や、その活動全般の運営管理、予め災害に備えるための施設準備積立、献血推進や救急法等の講習などに使われる、という違いがあります。被災された方々を助ける活動は、皆さまに支えられているのです。

日赤では命を守るために、地道な活動も大切にするという理念で日々活動しています。今後もご支援お願いいたします。

コラム

自転車で、学校へ行く回数が増えました!

船橋小学校では、運動会等のイベント時も、周辺道路等への迷惑駐輪はありません。校内に自転車を停めるしくみを持っているからです。

最近耳に挟んだことですが、改築時に作られたこの「駐輪場」、当初は僅かな台数しか計画されていなかったようです。子ども達に乗って来てはいけないとあって、保護者が守らないわけにはいかない、というのが理由だったといえます。

これに対し、保護者は家事や育児、仕事もあって忙しい身。自転車に乗って来て良いとなると、来る人や来る回数が増えるのではないかと、どっちが大事でしょうか? 協議の結果、計画を見直したとのこと。駐輪場とはいっても、来客用駐車場を必要時に転用したり、フェンス際等に自転車が置けるようにしていただけなので、かなり経済的だったようです。

この『英断』は、保護者たちが学校へ行く回数等を増やし、活動的なPTAを支えていることにつながったのではないのでしょうか? (mona)

編集後記

古くから歴史とともにその郷土に残る地名の「廻沢」。世田谷区の住居表示実施制度によって新しく誕生した町名が「千歳台」です。北は徳富蘆花の旧邸がある粕谷に接し、東は船橋に接する「廻沢・千歳台」は、田園情緒が豊かに残る区内でも数少ない地区でした。この地区には、古くは廻沢稲荷神社、東覚院、品川用水、塚戸小など、新しくはガスタック(東京ガス世田谷整庄所)、世田谷区の南北幹線道路の環八、千歳台小、成城消防署千歳出張所、成城警察署、千歳台地区会館などがあります。そして、いまも、当時の農村の生活の様子を生きたままと伝えていきます。古きをたずねて新しさを知る、そんな思いで本号を編集してみました。(照)

のせ 能勢公園で井戸掘り! 船橋小径の会

2月12日、池の水質向上のため小径の会主催で井戸掘りが行われました。参加したのは小径の活動に継続参加してきた子どもぶんか村「ボランティアくらす」、船橋小学校おやじの会、千歳丘高校生徒会、近所の住民たち、おやじの会主催「社会見学会」に参加の児童、総勢60名。

半数は子どもたちで、力仕事にも大活躍し1時間ほどで水が出始めると歓声と拍手が起こりました。

子どもたちも土中深くに光る水を確認し大興奮の様子でした。

